

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひかり（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2024年12月18日		～ 2025年1月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	2024年12月18日		～ 2025年1月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが安心感をもって、楽しみをもって通所できる環境づくり	ご利用の子どもたちに職員が担当制で付いておりません。職員全員がご利用の子どもたち全員の特性を理解し、すべての子どもの支援に関わることができるように取り組んでおります。そのことで、子どもたちにとっては相談できる職員がたくさんでき、子どもたちの判断と一緒に活動する職員を選択できる環境となっております。	支援に関わる職員も含め、施設内での活動について子どもたちが自己選択・自己決定できる環境をつくることで、これからも子どもたちが安心感や楽しみを感じられる場づくりに取り組んでまいります。
2	保護者様との連携やコミュニケーションが充実しています。	日々の子どもの様子を、連絡帳及び送迎時に保護者様に伝えたり、モニタリング時や来所持に情報共有を行うことで職員と保護者様との信頼関係を深めています。また、Instagramを活用し、ひかり各事業所の様子を写真や動画で配信しています。	保護者様と面談をする職員が限られているため、様々な職員が信頼関係を深められるよう、日々の送迎時等での引継ぎや情報発信を工夫していきます。
3	関係機関との連携を図っています。	お子さん一人ひとりの課題について、各関係機関（学校、他事業所、病院、児童館等）での取り組みや考えを聞いたり、ひかりでの様子を伝えたりしています。	これまでの支援や対応をより丁寧に継続していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門職による支援が不足しています。	作業療法士、言語聴覚士、心理的支援など専門職による直接支援が望ましいところですが現段階では確保することができていない状況です。	必要な人材が確保できるまでは、現有の支援者が研修等を重ね専門性につながる支援に取り組んでいけるようにしていきます。
2	保護者間の交流の機会が少ないと感じています。	イベント等を実施していますが、全体的な参加人数が少なかったり、利用する参加者が限られてしまう傾向にあります。	療育参観等、イベント以外で保護者同士が顔を合わせられる場を設定したり、魅力的なイベントの企画、運営をしたりすることで交流の機会を増やせたらと思います。
3			